

## みんなで楽しく過ごせる地域づくりを！ ～地域の農地を守る活動に女性も活躍～

【類型】 水稻 + 作業受託 + 露地野菜

【組織名】農事組合法人 田野川甲営農組合  
(平成28年1月27日設立)

【所在地】高知県四万十市田野川甲

【農業地域類型】中山間農業地域

【構成戸数・人数】6戸・12人

【従事者数】オペレーター 6人

【経営規模】

水稻 19.3ha(R4)

コシカカリ 9.2ha、飼料用米 7.4ha

ヒノカカリ 1.8ha、その他 0.85ha



(農)田野川甲営農組合設立総会

作業受託 畦塗10a、耕耘30a、田植10a  
収穫125a、乾燥170a、粃摺5,127袋、育苗652枚

### 設立の経緯

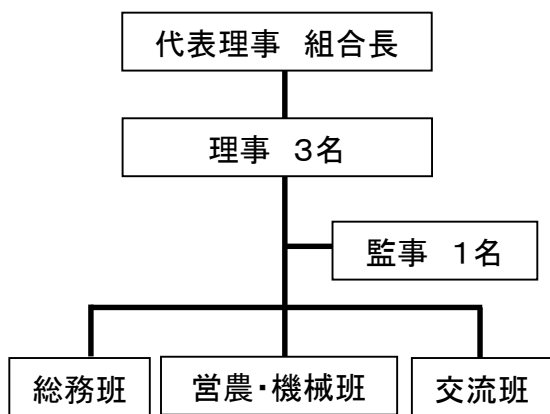
- 農家の高齢化や後継者不足、農地維持と稲作機械の負担軽減等の課題解決のため、勉強会や視察研修を行い、平成24年3月に6名の兼業農家で「田野川甲営農組合」を設立。設立後は県の事業を活用し、施設や機械を計画的に導入・活用し、規模拡大と経営発展を進めてきた。
- 平成26年末からは組織のステップアップを図るため、法人化に向けた協議を始め、平成28年1月に(農)田野川甲営農組合を設立した。

### 取組の特徴・効果

- 水稻中心の兼業農家地帯(専業農家はいない)。
- 設立当初から協業経営を開始。地区の9割以上を法人が管理している。水路の管理に地権者も参加している。
- 水稻栽培による効率的な土地利用と、機械化作業体系の構築を目指している。
- 事業を活用し、施設・機械を計画的に導入(【機械・施設一覧】参照)
- 経営所得安定対策等への取り組みで、水稻の約4割は飼料用米を栽培。
- 四万十市が推進するブランド米「四万十農法米」に取り組んでいる。
- 鳥獣害対策で、約20kmに及ぶ金網柵を設置。R4は電柵も設置。(6.3km)
- 組合員全戸が夫婦で組合員になり、女性も参画している。

## 【具体的な取組内容】

### ○組織体制



法人設立検討会



キャベツの栽培状況



地域貢献の餅投げ



鹿の捕獲檻の設置

## 【機械・施設一覧(令和5年時点)】

施設・機械名	規格・型番	年度	総事業費	組合負担額	備考
農機具格納庫	120m <sup>2</sup> (15m×8m)	H24	8,127,000	2,465,000	集落営農・拠点ビジネス支援事業
籾摺機	4インチ		1,123,000	337,000	
計量選別機	4インチ対応				
リフトアップ装置	最大積載量35kg				
乾燥機	40石、30石、27石	H25	3,820,000	764,000	
コンバイン	4条刈り、グレンタンク、デバイター		5,821,000	1,165,000	
田植機	6条植え、側条施肥	H26	2,494,800	499,800	
トラクター一式	37ps、ロータリー、ハロー		5,484,240	1,098,240	
畦塗機	37ps対応		716,040	144,040	
フォークリフト	1.5t	H26	1,652,400	331,400	
育苗用ハウス	81m <sup>2</sup>	H27	1,190,160	833,000	
倉庫	75m <sup>2</sup>	R2	5,665,000	2,082,000	県事業
機械類	脱ホウ選別機、ウイングモア、育苗箱洗浄機	H27	410,700	410,700	自己資金
機械類	育苗器、ウイングモア	H29	430,000	430,000	
機械類	ブロードキャスター、籾摺り機一式	H30	1,168,800	1,168,800	
コンバイン	5条刈り	R2	7,516,300	7,516,300	
色別選別機	5インチ	R3	3,022,800	1,058,800	県事業
フレコンバック計量器			1,408,264	493,264	
合計			50,050,504	20,797,344	

## 【課題・今後の取組】

- 法人の経営計画達成に向けて、農地を集積しながら規模拡大を行う。
- 田野川地域の担い手として、地域貢献活動を積極的に進める。
- 次世代の後継者確保のために、息子世代への声かけを継続する。
- 地域の活性化と後継者の育成に繋げる。